

ここ数年はポーターズペイント（以下ポーターズ）というオーストラリア生まれの塗料をよく使用しています。

従来の塗装仕上げの概念を覆すようなインパクトが最大の特徴で、一目見た時から無くてはならない存在になっています。

一般的に塗装というと、凹凸が無く、ローラーでいかに均一に仕上げるかで、職人の腕が試されます。

ポーターズは、塗料の中に鉋物が混ざっており、刷毛で塗ることによって鉋物が散らばり、均一に仕上げることが難しい（ポーターズ塗料はいくつか種類がありますが、ここでは一番使っている「ストーンペイント」についての内容）。むしろ、均一に仕上げようとせず、ランダムに刷毛を動かすことで、良い具合に鉋物が散ってくれ、散った鉋物に当たる自然光が陰影を作り、独特な雰囲気を生んでくれます。

ポーターズ仕上げの天井や壁を是非一度体感頂きたいです。

ざっざっ、さっさっ・・・

現場に響くその音は、左官工事の音ではなく、塗装工事の音で、なんとも不思議な感覚になります。



手仕事のある家づくり。 zuiun便り vol.62

ランダムな塗り方であるが故に、塗装するのは職人である必要がなく（もちろん、吹抜け等は安全面から職人に依頼することが望ましい）、お子さんを含めて、ご家族誰でも塗れる、取り入れやすさもまた大きな魅力です。



思い出づくりに作業出来るのは、珪藻土や漆喰のDIYも同じですが、暮らし始めてからのメンテナンス性の良さは差が出るどころ。ポーターズであれば、汚れや傷の入った箇所だけに塗料をつけても馴染んでくれます。

不思議な事に、この「ストーンペイント」はオーストラリア本国では室内で使用せず、外部で使用しています。室内にはつるつる・すべすべした石やタイルといった素材が好まれているそうです。一方、古くから土壁・砂壁の文化がある日本では、ザラザラした壁が室内壁であった為、違和感なく受け入れているのかもしれないですね。

こんな文化の違いも頭の片隅に入れつつ、皆さんもポーターズを取り入れてみてはいかがでしょう。その他にも、まだまだ魅力はありますが、ここでは書ききれませんので是非一度お問い合わせ下さい。

家族の手仕事の跡がある家ほど、魅力的な家はないと思いますよ。